

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-176902

(P2005-176902A)

(43) 公開日 平成17年7月7日(2005.7.7)

(51) Int.Cl.⁷

A47C 19/22

F I

A47C 19/22

A

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2003-418048 (P2003-418048)

(22) 出願日 平成15年12月16日 (2003.12.16)

(71) 出願人 000010032

フランスベッド株式会社

東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 5

(74) 代理人 100058479

弁理士 鈴江 武彦

(74) 代理人 100091351

弁理士 河野 哲

(74) 代理人 100088683

弁理士 中村 誠

(74) 代理人 100108855

弁理士 蔵田 昌俊

(74) 代理人 100075672

弁理士 峰 隆司

(74) 代理人 100109830

弁理士 福原 淑弘

最終頁に続く

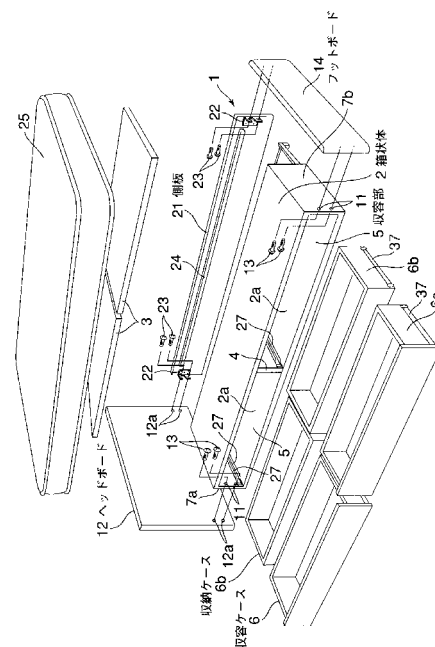
(54) 【発明の名称】 ベッド装置

(57) 【要約】

【課題】 この発明は箱状体に収容された収納ケースを円滑に引き出すことができるようにしたベッド装置を提供することにある。

【解決手段】 幅方向の一側面が出し入れ口に形成され他側面に通口が形成されるとともに内部を収容部 5 としてヘッドボード 1 2 の幅方向一端部に一端面が連結して設けられる箱状体 2 と、箱状体の他端面に幅方向一端部を連結して設けられたフットボード 1 4 と、各ボードの幅方向他端に端と他端とを連結して設けられた側板 2 1 と、側板と箱状体との間に架設され上面にマットレス 2 5 が載置される床板と、収容部に一端部が取り付けられ他端部を箱状体の通口から外部へ突出して設けられた第 1 のガイド部材 2 7 と、幅方向両側外面に第 1 のガイド部材に移動可能に係合する第 2 のガイド部材 3 7 が設けられ第 2 のガイド部材を第 1 のガイド部材に係合させて箱状体の幅方向に沿って設けられた複数の収納ケース 6 a , 6 b とを具備する。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ヘッドボードと、

このヘッドボードの幅寸法よりも小さな幅寸法であって、幅方向の一側面が出し入れ口に形成され他側面に通口が形成されるとともに内部を収容部として上記ヘッドボードの幅方向一端部に長手方向の一端面が連結して設けられる箱状体と、

この箱状体の長手方向の他端面に幅方向一端部を連結して設けられたフットボードと、

上記ヘッドボードとフットボードとの幅方向他端に長手方向一端と他端とを連結して設けられた側板と、

この側板と上記箱状体との間にこの箱状体の上面とほぼ同じ高さで架設される床板と、

この床板と上記箱状体との上面に載置されるマットレスと、

上記収容部の幅方向両側内面に一端部が取り付けられ他端部を上記箱状体の通口から外部へ突出して設けられた第 1 のガイド部材と、

幅方向両側外面に上記第 1 のガイド部材に移動可能に係合する第 2 のガイド部材が設けられこの第 2 のガイド部材を上記第 1 のガイド部材に係合させて上記箱状体の幅方向に沿って設けられた複数の収納ケースと

を具備したことを特徴とするベッド装置。

10

【請求項 2】

上記箱状体の幅方向一端側に位置する収納ケースの出し入れに他端側に位置する収納ケースを連動させる連結手段を有することを特徴とする請求項 1 記載のベッド装置。

20

【請求項 3】

上記収容部には、上記箱状体の幅方向一端側に位置する収納ケースを空間部から引き出すことで、幅方向他端側に位置する収納ケースを引き出すことができる引き出し部材が設けられていることを特徴とする請求項 1 記載のベッド装置。

【請求項 4】

上記箱状体の幅方向一端側に位置する収納ケースの移動方向前端には、その収納ケースを上記空間部に収容したときに上記出し入れ口を閉塞する前板が着脱可能に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載のベッド装置。

【請求項 5】

上記箱状体の幅方向他端側に位置する収納ケースは、上記通口から上記箱状体の外部に突出しており、この箱状体の上面開口は着脱可能な蓋体によって閉塞されていることを特徴とする請求項 1 記載のベッド装置。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この発明は収納ケースが出し入れ可能に設けられる箱状体を有するベッド装置に関する。

【背景技術】**【0002】**

一般に、ベッド装置はベッド本体を有する。このベッド本体は上面にマットレスが載置されるとともに、長手方向一端にはヘッドボード、他端にはフットボードがほぼ垂直に立設されている。

40

【0003】

上記ベッド装置が占有する室内空間を有効利用するため、たとえば特許文献 1 に示すベッド装置がある。この特許文献 1 に示されたベッド装置は、ベッド本体（基体）に空間部が形成されている。この空間部はベッド本体の幅方向一側面及び下面に開口しており、この側面開口から内部に収納ケース（箱体）を出し入れできるようにしている。したがって、上記収納ケースに衣類などの物品を入れることで、ベッド本体が占有する室内空間の有効利用を図ることができる。

【特許文献 1】実開昭 57 - 7360 号公報

50

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

上記特許文献1に示されたベッド装置は、ベッド本体に形成された空間部に設けられる収納ケースの下面にキャスタを設け、このキャスタによって床面を走行させることで、上記収納ケースを上記ベッド本体の空間部に対して出し入れできるようにしている。

【0005】

しかしながら、キャスタによって収納ケースをベッド本体に形成された空間部に対して出し入れする構成によると、キャスタが床面を走行することになるから、このキャスタによって床面が傷付けられるということがあったり、床面に絨毯やカーペットが敷かれている場合には、キャスタが絨毯やカーペットに沈んで走行抵抗が大きくなるため、上記空間部に対して収納ケースを円滑に出し入れすることができないということもある。

【0006】

さらに、ベッド本体の下面に設けたキャスタを床面に走行させる構成によると、ベッド本体に形成される空間部は、このベッド本体の下面を通じて外部に連通してしまうから、その下面から空間部に塵埃が入り込み、空間部内の収納ケースに収容された物品に塵埃が付着し、物品が汚れてしまうということがある。

【0007】

また、特許文献1では、収納ケースをベッド本体の幅方向に対して2つに分割し、これら収納ケースを結合部材によって連結して空間部に収容するようにしている。それによって、ダブルサイズなどのようにベッド装置の幅寸法が大きい場合であって、ベッド本体の側方に、ベッド本体の幅寸法の約半分程度の引き出し用のスペースを確保することで、上記ベッド本体の空間部から2つの収納ケースを順次引き出すことを可能にしている。つまり、ベッド本体の空間部を幅方向全長にわたって有効に利用することができるようにしている。

【0008】

しかしながら、2つの収納ケースを連結すると、これら収納ケースを空間部に出し入れするときの走行抵抗がより一層、大きくなるから、収納ケースが1つの場合に比べ、上記空間部に対する収納ケースの出し入れがさらにし難くなるということがある。

【0009】

この発明は、収納ケースが収容される収容部を塵埃が入り難い密閉構造にできるとともに、収納ケースの出し入れを円滑に行なうことができるようにしたベッド装置を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0010】

この発明は、ヘッドボードと、

このヘッドボードの幅寸法よりも小さな幅寸法であって、幅方向の一側面が出し入れ口に形成され他側面に通口が形成されるとともに内部を収容部として上記ヘッドボードの幅方向一端部に長手方向の一端面が連結して設けられる箱状体と、

この箱状体の長手方向の他端面に幅方向一端部を連結して設けられたフットボードと、

上記ヘッドボードとフットボードとの幅方向他端に長手方向一端と他端とを連結して設けられた側板と、

この側板と上記箱状体との間にこの箱状体の上面とほぼ同じ高さで架設される床板と、

この床板と上記箱状体との上面に載置されるマットレスと、

上記収容部の幅方向両側内面に一端部が取り付けられ他端部を上記箱状体の通口から外部へ突出して設けられた第1のガイド部材と、

幅方向両側外面に上記第1のガイド部材に移動可能に係合する第2のガイド部材が設けられこの第2のガイド部材を上記第1のガイド部材に係合させて上記箱状体の幅方向に沿って設けられた複数の収納ケースと

を具備したことを特徴とするベッド装置にある。

10

20

30

40

50

【 0 0 1 1 】

上記箱状体の幅方向一端側に位置する収納ケースの出し入れに他端側に位置する収納ケースを連動させる連結手段を有することが好ましい。

【 0 0 1 2 】

上記収容部には、上記箱状体の幅方向一端側に位置する収納ケースを空間部から引き出すことで、幅方向他端側に位置する収納ケースを引き出すことができる引き出し部材が設けられていることが好ましい。

【 0 0 1 3 】

上記箱状体の幅方向一端側に位置する収納ケースの移動方向前端には、その収納ケースを上記空間部に収容したときに上記出し入れ口を閉塞する前板が着脱可能に設けられていることが好ましい。 10

【 0 0 1 4 】

上記箱状体の幅方向他端側に位置する収納ケースは、上記通口から上記箱状体の外部に突出しており、この箱状体の上面開口は着脱可能な蓋体によって閉塞されていることが好ましい。

【 発明の効果 】

【 0 0 1 5 】

この発明によれば、収納ケースは、箱状体の収容部に設けられた第1のガイド部材に、幅方向両側外面に設けられた第2のガイド部材を移動可能に係合させているため、上記収容部に対する出し入れを円滑に行なうことができるとともに、箱状体の幅寸法に制限されることなく、その幅方向に沿って複数の収納ケースを並設することが可能となる。 20

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 6 】

以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【 0 0 1 7 】

図1乃至図5はこの発明の第1の実施の形態を示す。図1はこの発明のベッド装置の分解斜視図であって、このベッド装置はベッド本体1を備えている。このベッド本体1は、箱状体2と、長手方向中途部で分割された2枚の床板3を有する。上記箱状体2は幅方向の一側面が全体にわたって開口した出し入れ口2aとなっており、他側面には出し入れ口2aよりも低い高さ寸法で開口した通口2b（図2（a）、（b）に示す）が形成され、 30
内部は仕切り板4によって2つの収納部5に分割されている。

【 0 0 1 8 】

上記箱状体2の各収容部5にはそれぞれ幅方向に複数、この実施の形態では2つの収納ケース6a、6bが後述するように出し入れ可能に設けられている。各収納ケース6a、6bは上面が開口した箱形状に形成されていて、内部には衣類などの物品が収容できるようになっている。

【 0 0 1 9 】

上記箱状体2の長手方向一端と他端とに位置する各端板7a、7bには、箱状体2の出し入れ口2a側に位置する幅方向の一端部に一对の通孔11が上下方向に所定間隔で形成されている。箱状体2の一方の端板7aには、この箱状体2よりも幅寸法及び高さ寸法が 40
十分に大きいヘッドボード12の幅方向一端部が上記通孔11からヘッドボード12の内面の幅方向一端部に形成された一对のねじ孔12aに通された一对のねじ13によって取付け固定されている。なお、この実施の形態では、上記ヘッドボード12の幅寸法は、上記箱状体2の幅寸法のほぼ2倍に設定されている。

【 0 0 2 0 】

上記箱状体2の他方の端板7bには、上記ヘッドボード12と同じ幅寸法で、高さ寸法が低いフットボード14の幅方向一端部が上記端板7bの通孔11からフットボード14の内面の幅方向一端部に形成された図示しない一对のねじ孔に通された一对のねじ13によって取付け固定されている。

【 0 0 2 1 】

上記ヘッドボード 1 2 とフットボード 1 4 との幅方向の他端には、帯板状の側板 2 1 が着脱可能に取り付けられている。つまり、側板 2 1 の長手方向両端には L 字状をなした連結金具 2 2 の一辺が取付け固定されている。この連結金具 2 2 の他辺には上下一対の鉤部が形成され、この鉤部はヘッドボード 1 3 とフットボード 1 4 との幅方向他端に形成されたねじ孔 1 2 a (ヘッドボード 1 2 のねじ孔 1 2 a だけ図示) に螺合されるねじ 2 3 によって取付け固定される。

【0022】

上記側板 2 1 の内面と、上記箱状体 2 の他側外面とにはそれぞれ受け棧 2 4 (箱状体 2 の受け棧 2 4 は図 2 (a) に示す) が設けられている。一对の受け棧 2 4 には上記床板 3 が幅方向両端部を係合させて架設される。つまり、床板 3 は箱状体 2 と側板 2 1 との間に設けられる。上記箱状体 2 の上面と、上記床板 3 の上面とはほぼ同じ高さの平面となっていて、この平面にはマットレス 2 5 が載置される。

10

【0023】

各収容部 5 の幅方向両側の内面、つまり仕切り板 4 の両側面と各端板 7 a, 7 b の内面にはそれぞれ第 1 のガイド部材 2 7 が設けられている。第 1 のガイド部材 2 7 は、図 4 (a) に示すようにそれぞれ帯状部材の上下端を L 字状に折り曲げることで一側面に開放した断面コ字状のガイド溝 2 7 a が形成されていて、他側面には長手方向の一端部と中途部とにそれぞれピン 2 8 が突設されている。

【0024】

さらに、第 1 のガイド部材 2 7 の一端部は他の部分よりも幅広に形成され、この一端部のガイド溝 2 7 a 側には第 1 のローラ 2 9 が回転可能に設けられている。そして、一对の第 1 のガイド部材 2 7 は、一对のピン 2 8 を仕切り板 4 と端板 7 a, 7 b との内面に形成された係合孔 3 1 (図 2 (a)、図 5 に示す) に着脱可能に嵌合させて設けられている。

20

【0025】

一对の第 1 のガイド部材 2 7 の他端部は、図 3 (a), (b) に示すように箱状体 2 の他側面に開口形成された通口 2 b から外部に突出しており、その突出端部は図 4 (a) に示すように両端に止めねじ 3 2 が螺合された連結ロッド 3 3 によって連結されているとともに、脚部材 3 4 によって下方へ撓むことがないよう支持されている。

【0026】

各収容部 5 に収容されるそれぞれ一对の収納ケース 6 a, 6 b の幅方向両側外面の高さ方向下部には、上記第 1 のガイド部材 2 7 のガイド溝 2 7 a に転動可能に係合する第 2 のローラ 3 6 を有する断面クランク状の第 2 のガイド部材 3 7 が下端のフランジ 3 7 a を側板の下端面に固着して設けられている。

30

【0027】

そして、各収納ケース 6 a, 6 b は、図 5 に示すように第 2 のガイド部材 3 7 に設けられた第 2 のローラ 3 6 を第 1 のガイド部材 2 7 のガイド溝 2 7 a に係合させるとともに、クランク状の上端のフランジ 3 7 b を第 1 のローラ 2 9 に係合させることで、移動可能に支持されている。それによって、収納ケース 6 a、6 b は、第 1 のガイド部材 2 7 に沿って円滑に出し入れすることができるようになっている。

【0028】

各収容部 5 に設けられるそれぞれの収納ケース 6 a, 6 b の奥行き寸法は、箱状体 2 の奥行き寸法とほぼ同じ設定されている。それによって、図 3 (a) に示すように手前側の収納ケース 6 a を収容部 5 に収容すると、奥側の収納ケース 6 b は箱状体 5 の通口 2 b から外部に突出し、床板 3 の下面側に位置するようになっている。

40

【0029】

箱状体 5 の外部に突出した収納ケース 6 b の上面開口は着脱可能な蓋体 4 1 によって閉塞される。この蓋体 4 1 は、収納ケース 6 b の四隅部に設けられた受け部材 4 2 によって支持されるようになっている。

【0030】

前方に位置する収納ケース 6 a の前端面には、この収納ケース 6 a を収容部 5 に収容し

50

たときに、箱状体 2 の出し入れ口 2 a を閉塞する前板 4 3 が設けられている。また、前方の収納ケース 6 a の後端面と、後方の収納ケース 6 b の前端面とは、これらの端面にそれぞれ設けられた連結手段としての磁石 4 4 によって分解可能に連結されている。

【0031】

それによって、前方の収納ケース 6 a を引き出すと、その動きに後方の収納ケース 6 b が連動するから、2 つの収納ケース 6 a , 6 b を箱状体 2 の幅方向に並設収納しても、後方の収納ケース 6 b を前側の収納ケース 6 a とともに引き出すことが可能となっている。

【0032】

このような構成のベッド装置によれば、箱状体 2 に形成された一对の収容部 5 には、幅方向両側内面に第 1 のガイド部材 2 7 を箱状体 2 の幅方向に沿って設け、この第 1 のガイド部材 2 7 には一对の収納ケース 6 a , 6 b を、その幅方向の両側外面に設けられた第 2 のガイド部材 3 7 を移動可能に係合させて設けるようにした。 10

【0033】

そのため、一对の収納ケース 6 a , 6 b は、第 1 のガイド部材 2 7 と第 2 のガイド部材 3 7 との係合によって上記箱状体 2 の収容部 5 に対して円滑に出し入れすることが可能となる。つまり、収納ケース 6 a , 6 b にキャスタを設け、このキャスタを床面に走行させる場合に比べ、上記収納ケース 6 a , 6 b を軽い力で確実に出し入れすることができる。

【0034】

手前側の収納ケース 6 a は箱状体 2 の収容部 5 に収容され、しかも箱状体 2 の出し入れ口 2 a は上記収納ケース 6 a の前端面に設けられた前板 4 3 によって閉塞される。そのため、箱状体 2 内には塵埃が入り込み難いから、この箱状体 2 内の収納ケース 6 a に収容された衣類などの物品に埃が付着することがない。 20

【0035】

箱状体 2 から床板 3 の下面側に突出した後方の収納ケース 6 b は、上面開口が蓋体 4 1 によって閉塞されているから、箱状体 2 の収容部 5 から外部に突出していても、その内部に収容された衣類などの物品に埃が付着するのを防止できる。

【0036】

手前側の収納ケース 6 a を引き出すと、この収納ケース 6 a に磁石 4 4 によって連結された後側の収納ケース 6 b が連動して引き出される。そのため、箱状体 2 の幅方向に 2 つの収納ケース 6 a , 6 b を並べて収納しても、これら 2 つの収納ケース 6 a , 6 b を出し入れすることが可能である。 30

【0037】

箱状体 1 2 の幅寸法が、ヘッドボード 1 2 とフットボード 1 4 との幅寸法よりも小さいため、箱状体 1 2 によって形成される収容部 5 の奥行き寸法も小さくなる。しかしながら、箱状体 1 2 の幅方向の他側面に通口 2 b を開口形成し、この通口 2 b から第 1 のガイド部材 2 7 を突出させるようにした。

【0038】

そのため、箱状体 1 2 の各収容部 5 の奥行き寸法に制限を受けることなく、この箱状体 1 2 の幅寸法よりも大きな奥行き寸法となる 2 つの収納ケース 6 a , 6 b を、上記箱状体 1 2 の幅方向に並設することが可能となる。つまり、収納時に、手前側の収納ケース 6 a は箱状体 1 2 の収容部 5 に収容されるが、後側の収納ケース 6 b を箱状体 1 2 の後方へ突出させるようにしたから、箱状体 1 2 の幅寸法に制限されることのない奥行き寸法で 2 つの収納ケース 6 a , 6 b を並設することができる。 40

【0039】

なお、この実施の形態において、2 つの収納ケース 6 a , 6 b を連結する連結手段として磁石を挙げたが、連結手段は磁石に限られず、コ字状の金具や紐などを用いるようにしてもよく、要は手前側の収納ケースを引き出したときに後側の収納ケースが連動するように、これら収納ケースを連結できるものであればよい。

【0040】

図 6 (a) ~ (c) はこの発明の第 2 の実施の形態を示す。この実施の形態は手前側の 50

収納ケース 6 a だけを単独で引き出した後で、後側の収納ケース 6 b を引き出せるようにしたものである。

【 0 0 4 1 】

つまり、収容部 5 の内底部には、この収容部 5 の前後方向に沿って引き出し部材 5 1 が設けられている。この引き出し部材 5 1 は、比較的硬質な合成樹脂や金属板などの帯状の部材からなり、その一端部と他端部とは長手方向の中央部に向かって鋭角に屈曲された第 1 の係合片 5 2 a と第 2 の係合片 5 2 b とが形成されている。

【 0 0 4 2 】

上記第 1 の係合片 5 2 a は図 6 (a) に示すように収容部 5 に収容された手前側の収納ケース 6 a の後端板 5 3 a よりも前方に位置し、第 2 の係合片 5 2 b は後側の収納ケース 6 b の前端板 5 3 b よりも後方に位置している。

10

【 0 0 4 3 】

図 6 (a) に示すように手前側の収納ケース 6 a を引き出したとき、後側の収納ケース 6 b は箱状体 2 の通口 2 b から外方の突出した位置から動くことがない。後側の収納ケース 6 b を引き出すときには前側の収納ケース 6 a を取り出した後、収容部 5 の前端部下面に露出した引き出し部材 5 1 の第 1 の係合片 5 2 a に手を掛けてこの引き出し部材 5 1 を引き出す。それによって、この引き出し部材 5 1 の第 2 の係合片 5 2 b に後側の収納ケース 6 b の前端板 5 3 b が係合するから、図 6 (b) から図 6 (c) に示すようにその収納ケース 6 b を引き出すことができる。

【 0 0 4 4 】

20

後方の収納ケース 6 b を引き出した後、図 6 (c) に示すようにその収納ケース 6 b の上面開口を閉塞した蓋体 4 1 を取り外す。それによって、その収納ケース 6 b の内部に物品を出し入れすることができる。

【 0 0 4 5 】

図 7 はこの発明の第 3 の実施の形態を示す。この実施の形態は 2 つの収納ケース 6 a , 6 b が同じ形状、この実施の形態では 2 つの収納ケース 6 a , 6 b がともに蓋体 4 1 を支持する受け部材 4 2 が設けられていない場合であって、その場合には収容部 5 に収容したときに出し入れ口 2 a を閉塞する前板 4 3 の背面にクランク状の係止具 5 5 を設け、この係止具 5 5 を各収納ケース 6 a , 6 b の前端板に着脱可能に係合させて設ける。

【 0 0 4 6 】

30

このような構成によれば、一对の収納ケース 6 a , 6 b のどちらの前端板にも前板を取り付けることができるから、一对の収納ケース 6 a , 6 b の前後の位置を入れ換えても、前側の収納ケースの前端板に取り付けられた前板 4 3 によって出し入れ口 2 a を確実に閉塞することができる。

上記各実施の形態では箱状体の幅方向に複数として 2 つの収納ケースを設けるようにしたが、2 つの限定されず、3 つ以上であっても差し支えない。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 4 7 】

【 図 1 】 この発明の第 1 の実施の形態を示すベッド装置の分解斜視図。

【 図 2 】 (a) は箱状体の断面図、(b) は箱状体に第 1 のガイド部材を設けた断面図。

40

【 図 3 】 (a) は第 1 のガイド部材に移動可能に支持された 2 つの収納ケースを収納した断面図、(b) は手前側の収納ケースを箱状体から引き出した断面図。

【 図 4 】 (a) は連結ロッドによって連結された一对の第 1 のガイド部材の斜視図、(b) は第 2 のガイド部材の斜視図。

【 図 5 】 箱状体に収納ケースが収容された状態の一部を拡大した断面図。

【 図 6 】 この発明の第 2 の実施の形態で、(a) ~ (c) は収容部から箱状体を引き出す手順を示した断面図。

【 図 7 】 この発明の第 3 の実施の形態を示す箱状体と収納ケースの断面図。

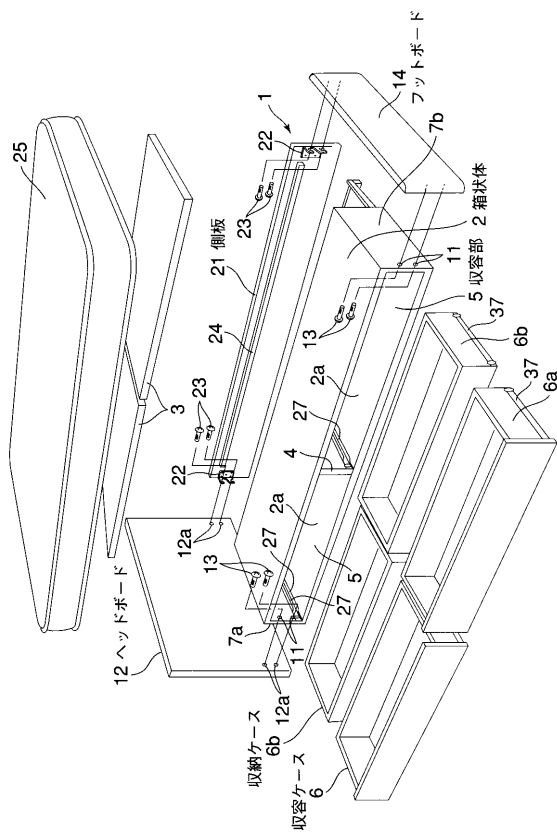
【 符号の説明 】

【 0 0 4 8 】

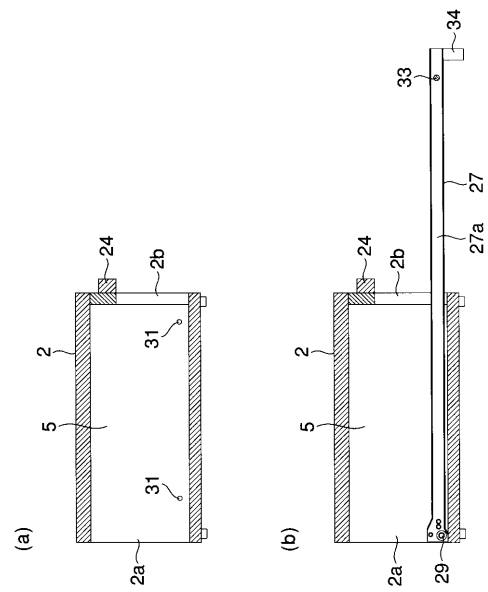
50

2 ... 箱状体、5 ... 収容部、6 a , 6 b ... 収納ケース、12 ... ヘッドボード、14 ... フットボード、25 ... マットレス、27 ... 第1のガイド部材、37 ... 第2のガイド部材。

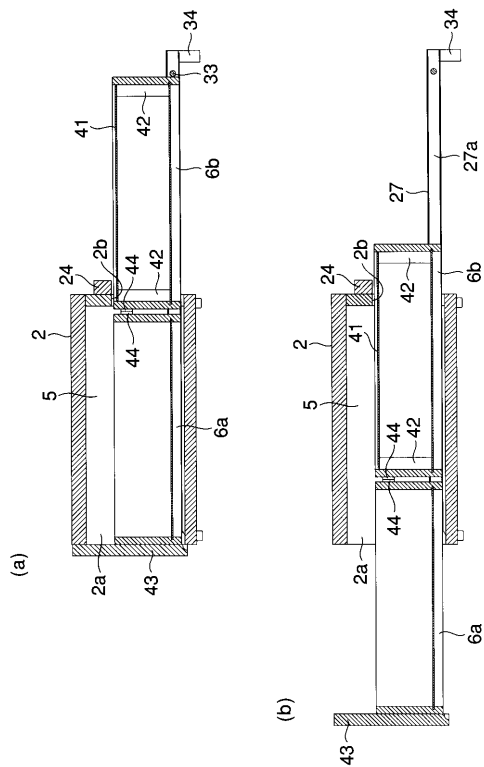
【図 1】



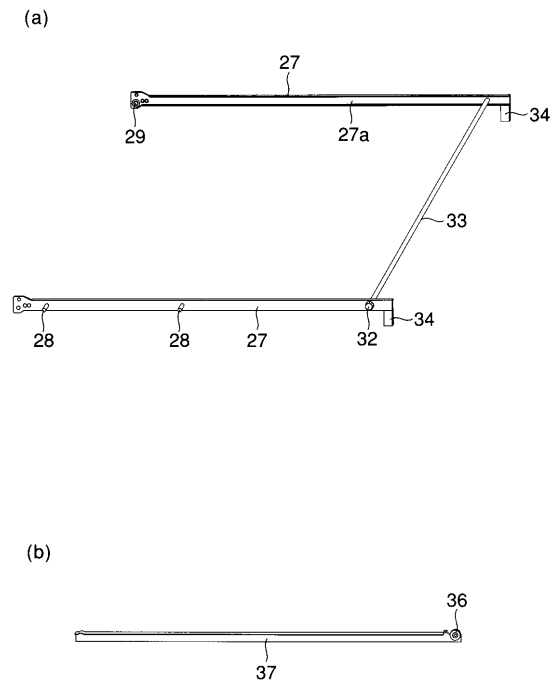
【図 2】



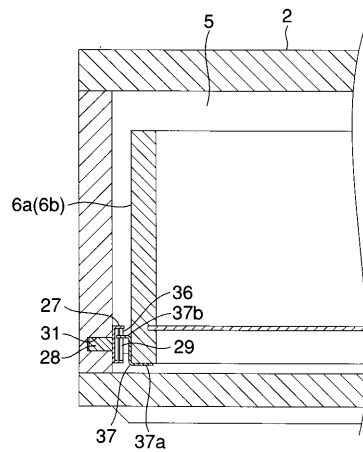
【 図 3 】



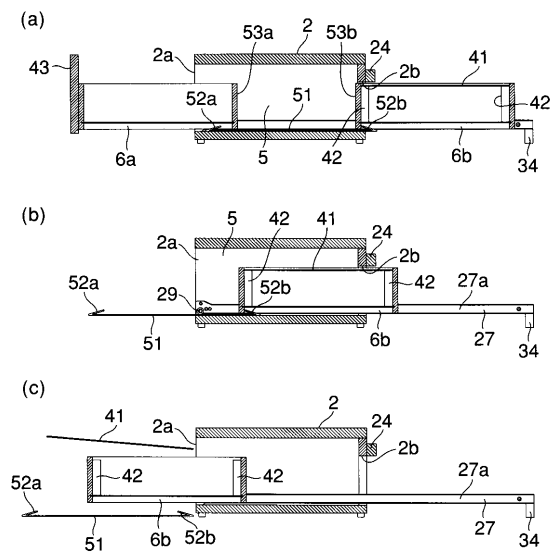
【 図 4 】



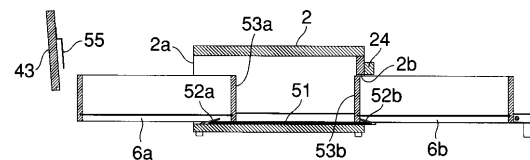
【 図 5 】



【 図 6 】



【 図 7 】



フロントページの続き

- (74)代理人 100084618
弁理士 村松 貞男
- (74)代理人 100092196
弁理士 橋本 良郎
- (72)発明者 池田 茂
東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 フランスベッド株式会社東京工場内
- (72)発明者 小熊 芳雄
東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 フランスベッド株式会社東京工場内
- (72)発明者 濱口 義治
東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 フランスベッド株式会社東京工場内